




地域医療連携室だより Vol.167



発行元 地方独立行政法人
市立大津市民病院 地域医療連携室
住 所 〒520-0804
滋賀県大津市本宮二丁目9番9号
電 話 077-526-8192
F A X 077-522-0192 発行日:2023年4月1日

市立大津市民病院 検索

だより内に  が 5ヶ所登場しています。ぜひ探してみてください。疫病退散。

令和5年度(2023年度)のご挨拶



市立大津市民病院 理事長:河内 明宏

平素より当院に対しましてひとかたならぬご厚情を賜り、厚く御礼申し上げます。

平成29年4月に地方独立行政法人化した本院にとりまして、令和5年度は7年目の年度で、第2期の後半に入ります。昨年度は皆様にご迷惑、ご心配をおかけいたしました。新たに70名の職員を迎え、“信頼の絆でつながる、市民とともに歩む健康・医療拠点”という病院理念のもと、全職員が一致団結して新しい年度をスタートしました。

今年度から市民や地域の病院・診療所の皆様との連携を円滑に行うために、従来の地域医療連携室、入退院センター、患者相談支援室、訪問看護ステーションを統合した地域医療連携支援センターを立ち上げました。センター内の各部署の横のつながりを密にして、在宅、外来、入院の流れをスムーズにし、他の医療機関の皆様との連携もしっかりと行っていききたいと思います。

新しい診療体制としましては歯科口腔外科口腔腫瘍センター長として前滋賀医科大学教授山本学先生をお迎えし、口腔腫瘍や外傷などにも力を入れていきます。また、女性医師による女性外来を乳腺外来、女性泌尿器科外来などから開始し、皆様に周知させていただき、どなたでもためらわずに受診できる体制を取って行きたいと思っております。

5月からは新型コロナウイルス感染症が感染症法の5類に変更されることにより新しい段階に入っていきますが、当院は県内唯一の第一種感染症指定病院として今後の状況の変化やさらに新しい感染症が生じた際の対処等に引き続き貢献してまいります。

今後も予測ができない事態が起こる可能性が十分ありますが、どのような状況においても市民や患者の皆様にご信頼される病院として努力してまいりますので、今後とも変わらぬ温かいご支援を賜りますように、何卒よろしくお願い申し上げます。



医師の異動

本年4月より下記の医師が着任しました。ご支援よろしくお願い致します。

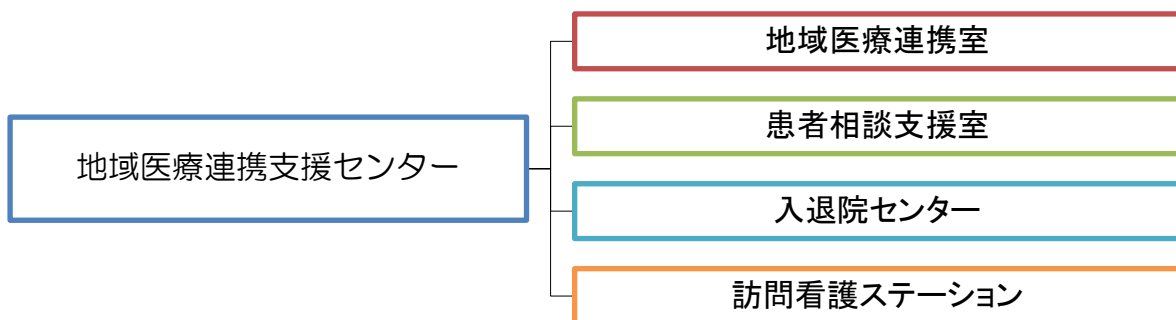
内科 江頭 文	一般・乳腺・消化器外科 川口 佳奈子	麻酔科 岩尾 美希
内科 堀内 萌生	一般・乳腺・消化器外科 堀口 晃平	麻酔科 島田 拓矢
呼吸器内科 井ノ口 乃英瑠	一般・乳腺・消化器外科 澤村 栄鳳	皮膚科 澤 杏樹
呼吸器内科 辻 尚朗	一般・乳腺・消化器外科 田中 亨明	泌尿器科 片山 真由果
呼吸器内科 森田 大毅	歯科口腔外科 山田 理人	
消化器内科 木村 英富	歯科口腔外科 山本 学	

本年3月末をもちまして下記の医師が退職となりました。在職中は大変お世話になりました。

内科 山口 幸代	脳神経内科 山田 真人	歯科口腔外科 和田 卓馬
内科 中山 藍	脳神経内科 廣田 真理	歯科口腔外科 松本 忠士
呼吸器内科 谷口 隆介	脳神経内科 布留川 郁	皮膚科 古谷 佳美
呼吸器内科 榊井 太輝	脳神経内科 吉田 紀子	泌尿器科 井上 健太郎
消化器内科 小畑 僚平	一般・乳腺・消化器外科 深山 華子	救急診療科 中田 康貴

地域医療連携支援センター設置のお知らせ

地域連携業務の一体化のために、院長直轄の4部門(地域医療連携室、患者相談支援室、入退院センター、訪問看護ステーション)を総括する地域医療連携支援センターを設置し、シームレスな連携を目指します。





放射線治療部門のご紹介

放射線科: なかしま 良太 りょうた

平素より各地域の先生方におかれましては、患者様をご紹介頂き誠にありがとうございます。今回は、当院の放射線治療部門のご紹介をさせていただきます。

当院の放射線治療部門では、Elekta 社の Synergy という放射線治療装置を用いて診療を行っております。この Synergy は、3 種類のエネルギー(4MV, 6MV, 10MV)が使用可能であり、体のどの部位に対しても照射可能なだけでなく、照射部位の位置合わせにコンビーム CT による画像照合が利用可能な、非常に精度の高い治療装置になっております。この治療装置を用いて、大学病院から派遣されております非常勤医師 2 名、常勤の診療放射線技師 2 名に加え、看護師も常駐し、診療に当たっております。当院に常勤の放射線治療医はいませんが、放射線治療医が不在の場合には、各科常勤医師のバックアップ体制がしっかりと構築され、患者様に安心して放射線治療を受けて頂けるようになっております。

適応疾患としましては、全てのがん種に対応可能ですが、強度変調放射線治療や定位放射線治療を行うべき症例につきましては、連携している病院にご紹介する形で対応しております。昨年度、当院では様々ながん種の患者様 134 名に放射線治療を行いました。実際に治療を行ったがん種としましては、肺癌、乳癌、泌尿器癌(前立腺癌など)、消化器癌(食道癌、胃癌、大腸癌、直腸癌、肝癌、胆嚢癌、膵癌)、頭頸部癌、血液腫瘍(リンパ腫、白血病)、脳腫瘍、皮膚癌など、になります。

当院の放射線治療部門の特徴として、チーム一丸となって診療に当たることで、ご紹介頂いた当日に放射線治療準備のための CT を撮影し、翌日には放射線治療を開始するといったスムーズな診療体制が挙げられます。さらには、院内の各診療科と連携して診療に当たっておりますので、必要に応じて他の専門科を受診することが可能な点や、CT や MRI などの画像検査もすぐに受けることが可能な点も、特徴のひとつです。

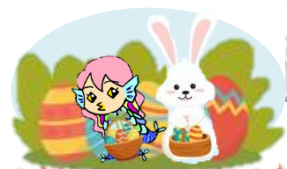
放射線治療は根治照射や準根治照射に加えて、緩和照射まで幅広い状況に対応が可能です。各種がんの疑いのある患者様のみならず、遠隔転移による疼痛がある患者様などがおられましたらご紹介頂ければ幸いです。なお、紹介につきましては、地域医療連携室を通してご紹介頂ければ幸いです。今後も地域のがん診療に貢献して参りますので、どうぞ宜しくお願い致します。



おがた たかし
緒方 隆司 医師



なかしま りょうた
前列左より 2 番目 中島 良太 医師



『チーム活動報告会』

看護局では平成28年度から、組織の活性化を図り看護の質の向上をめざすために、各所属が取り組んでいるチーム活動成果の報告会を開催しています。

今年度は令和5年2月24日(金)から3月10日(金)まで院内通路に掲示し、その中から職員が「素敵だと思う取り組み!」と思ったポスターに投票し、評価の高い所属には賞が贈られます。今年度の結果は次の通りでした。

- 第1位: 最優秀賞 8A 病棟
- 第2位: 優秀賞 ER
- 第3位: 優秀賞 外来部
- 第4位: 奨励賞 ICU

掲示を見た職員が「素敵だと思う取り組み!」のポスターに自由にシールを貼る



所属	テーマ
5A	スタッフの知識向上のための取り組み ～看護師主体の勉強会の実施～
6B	入院時から退院を見据えた関わり ～初期カンファレンスの導入～
7A	与薬事故減少に向けての取り組み
7B	検査オリエンテーションの効率化
8A	楽しく学ぼう必要度 ～必要度取得に向けた取り組み～
8B	受け持ち看護師が取り組む退院支援 ～サマリーとカンファレンスの充実を目指して～
9A	「急性期看護と終末期看護の 看護の質向上のための取り組み」
ICU	みんなで目指そう! ステップアップ☆ ～ICU ラダーと ECMO 研修～
3B	病棟の特殊性を加味した勉強会の開催 ～専門分野の知識向上、実践能力の向上への取り組み～
OP	手術看護師ラダーに基づいた教育計画の実施と評価 ～勉強会スケジュール表の活用～
ER	目指せ ER の達人!! ～CPA 対応強化に向けた取り組み～
外来・HD	リフレクションってなあに?

『看護研究発表会』

令和5年3月20日(月)16:15から、新型コロナウイルス感染症に留意しながら、4年ぶりに看護師が参集し9階会議室にて令和4年度の看護研究発表会を実施しました。

コロナ禍で悩みながら、看護の質の向上のために取り組んだ看護研究の発表がありました。発表後に各演題に対して活発な質疑応答が繰り広げられました。どの所属の発表も多忙な日常業務の中、懸命に取り組んだ経過が伝わる内容でした。



令和4年度看護研究発表演題一覧

所属	テーマ
7A	倫理カンファレンスの定着化に向けての取り組み
8B	継続看護向上へむけた退院サマリーの見直し ～退院サマリーの現状とその改善点～
9A	コロナ禍でも緩和ケア病棟で人生最期の時を有意義に過ごすための関わり ～感染予防と患者・家族が望む面会について～
3B	フォーマット活用による COVID-19 患者の思いの抽出 ～ACP 導入に向けて～
訪問看護	コロナ禍において在宅看取りを行った患者家族の思い
ER 内視鏡センター	指導内容の統一化をはかったことによる看護師の意識変容 ～帰宅指導パンフレットの導入～

MSW アイコさん

作・画 まきろん

